

# 和歌山県有田川第1, 第3工業用水道事業, 紀の川第2工業用水道事業の紹介

## ○事業の趣旨

有田川, 紀の川の豊富な水資源を活用して昭和25年頃から盛んになった企業の工場拡張, 人口の都市集中による水需要の増大, また, 昭和南海地震による地盤沈下の影響を受けた地下水の枯渇等の用水問題を解決するために設置された事業である。

## ○事業の経緯

有田川第1工業用水道事業は, 昭和21年12月の南海道大地震により, 下津町一帯の地下水が枯渇し, 塩害が甚だしくなり水不足をきたしたため, 丸善石油(株)が戦時中一部着工していた工業用水道施設を譲り受け完成し, 昭和31年4月より県営により給水を開始する。昭和59年7月より給水量を51,000m<sup>3</sup>/日から31,000m<sup>3</sup>/日に変更する。

有田川第3工業用水道事業は, 有田臨海工業用地に立地する企業の工場増設等に伴う工業用水の受水要請に対し, 有田川の表流水を水源とし, 給水量148,800m<sup>3</sup>/日の計画で昭和46年に建設に着手する。その後, 世界的な石油ショックを契機とした経済情勢の変化等により, 配水施設の完成後昭和55年度より建設を休止する。昭和59年7月より, 有田川第1工業用水道の余剰水20,000m<sup>3</sup>/日を水源とし, 有田川第2工業用水道<sup>(\*)</sup>の送水施設等を併用して一部給水を開始する。昭和60年3月に有田川第2工業用水道と統合のため計画給水量を148,800m<sup>3</sup>/日から107,000m<sup>3</sup>/日に, 水源を表流水から伏流水に事業を変更し, 昭和60年11月より給水を開始する。

(※有田川第2工業用水道事業: 県北部臨海工業地帯開発事業の一環として造成した有田臨海工業用地に, 有田川の伏流水を水源として工業用水を供給するため, 東亜燃料工業(株)の施設に県で潮止堰堤の築造等の改良を加え, 昭和41年7月同社より施設を譲り受け, 県営により給水能力87,000m<sup>3</sup>/日で運営を開始する。昭和60年10月末有田川第3工業用水道と統合のため廃止する。)

紀の川第2工業用水道事業は, 北部臨海工業地帯開発事業の一環として造成された海南港埋立工業用地

(162万m<sup>2</sup>)に新たに進出してきた石油精製, 鉄鋼, 電力等の各工場, 及び用水不足になやむ和歌山市手平, 小雑賀宇須地区に既存する紡績, 染色, 科学等の各工場に対して低廉豊富な用水を供給し, もって産業振興施策の一助となるよう計画されたものである。

## ○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

有田川第1工業用水道		
業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
石油・石炭	1	6,000
その他	1	4,500
有田川第3工業用水道		
業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
石油・石炭	1	84,000
ゴム製品	1	3,000
紀の川第2工業用水道		
業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
化学	13	20,200
鉄鋼	1	18,400
石油・石炭	1	14,200
電気	1	4,600
飲料	1	4,100
繊維	3	2,850
その他	11	4,200
合計	35	166,050

## ○施設の概要

有田川第1工業用水道は, 有田川の伏流水を取水し, 計画給水量31,000m<sup>3</sup>/日で海南市へ給水している。

有田川第3工業用水道は, 有田川の伏流水を取水し, 計画給水量107,000m<sup>3</sup>/日で有田市へ給水している。

紀の川第2工業用水道は, 紀の川の伏流水を取水し, 計画給水量102,300m<sup>3</sup>/日で和歌山市及び海南市へ給水している。

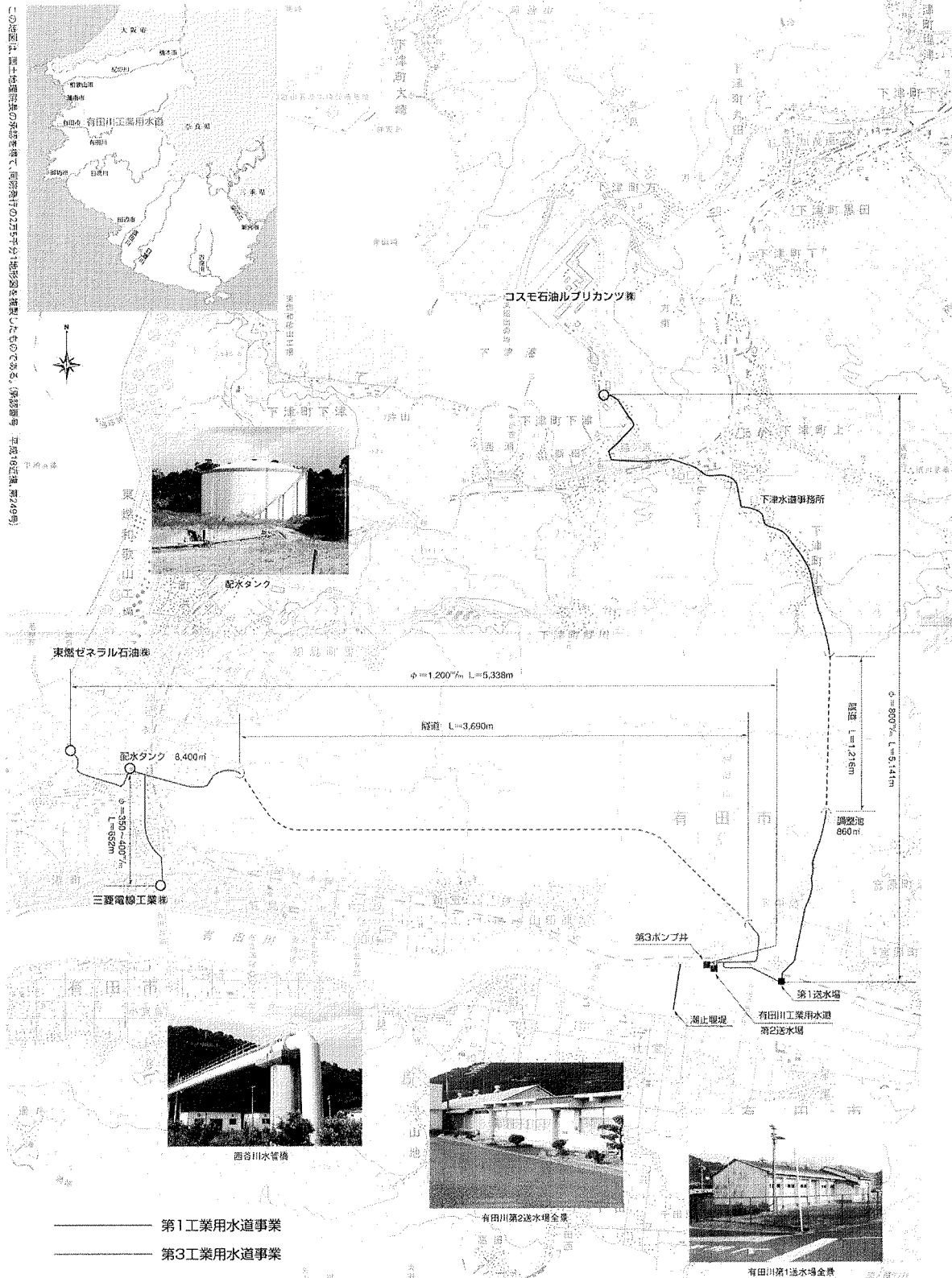
○事業の特徴

安全で効率的な運営を目的として、有田川第1, 第3工業用水道及び紀の川工業用水道の遠隔監視制御及び保守管理を、平成16年4月より工業用水道管理センターで行っています。

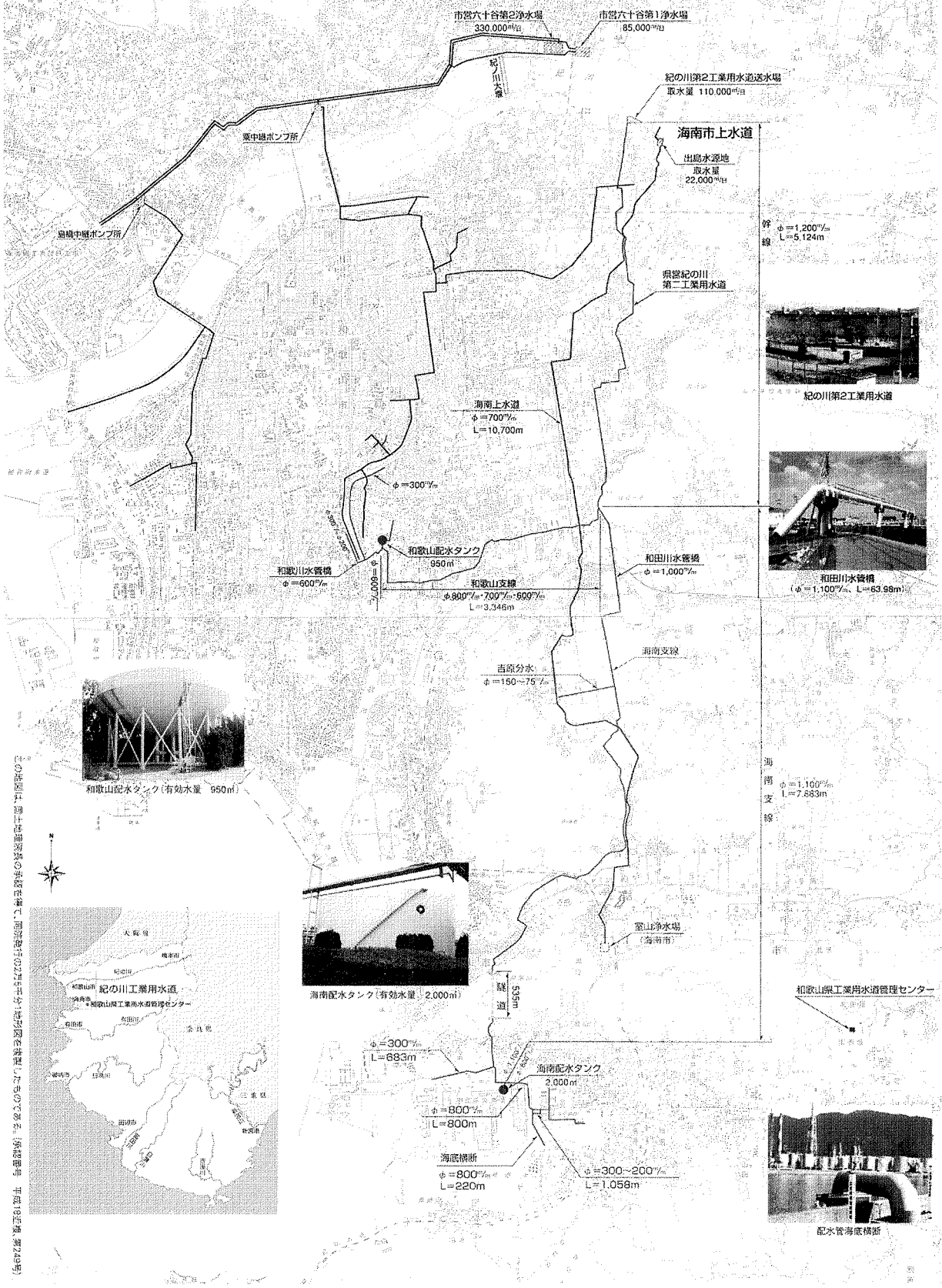
○和歌山県商工観光労働部公営企業課のホームページアドレス

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063000/index.html>

県営有田川工業用水道 給水経路図



# 県営紀の川工業用水道 給水経路図



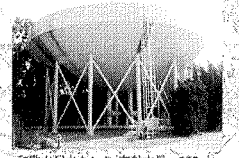
幹線  
φ=1,200<sup>mm</sup>  
L=5,124m



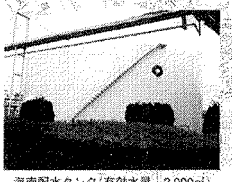
紀の川第2工業用水道



和歌山川水橋  
(φ=1,100<sup>mm</sup>, L=63.99m)



和歌山配水タンク(有効水量 950 m³)



海南配水タンク(有効水量 2,000 m³)

海南支線  
φ=1,100<sup>mm</sup>  
L=7,883m

和歌山工業用水道管理センター



配水管海底横断

この地図は、農土地理院の承認を得て、同院発行の2755号「和歌山県」を基にしたものである。(承認番号 平国18第2号 第24号)

